

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） 埋立/棧橋接続部護岸の鋼管矢板打設が完了

トピックス

24時間365日の昼夜連続施工で進められている東京国際空港（羽田空港）の4本目の滑走路（D滑走路）建設工事では、埋立・棧橋ハイブリッド構造の根幹となる埋立/棧橋接続部（以下、「接続部」と呼ぶ）の鋼管矢板井筒護岸の鋼管矢板の打設が、平成20年8月6日にすべて（全641本：格点部50本・隔壁部175本・外壁部416本）完了しました。

鋼管矢板打設が完了した現在は、隔壁部と外壁部の鋼管矢板で囲まれた内側に割栗石を投入する中詰工、鋼管と鋼管を結合する鋼管矢板継手部にモルタルを注入する継手処理工を最速で進めています。

中詰工、継手処理工が完了したのち、鋼管矢板で囲まれた井筒内部の海水を排水・ドライアップし、上部構造の構築を11月頃から開始する予定です。

接続部護岸（鋼管矢板井筒護岸）は、全長（約430m）に渡って滑走路直角方向に打設される2列の鋼管矢板φ1,600（外壁部）、それと直角に滑走路平行方向に打設される鋼管矢板φ1,600（隔壁部）及び鋼管矢板の頂部に構築される頂版コンクリートを一体化した24個の連続した矩形セル^{※1}により形成され、埋立部と棧橋部ジャケットという異なる構造を一体的に結びつける重要な構造物となります。

なお、接続部の施工範囲は、C滑走路を離発着する航空機の飛行経路の直下に位置するため厳しい高さ制限が設けられており、杭打船やクレーン作業等の高さ制限を越えての施工はすべて、C滑走路の使用が制限される「夜間」となります。

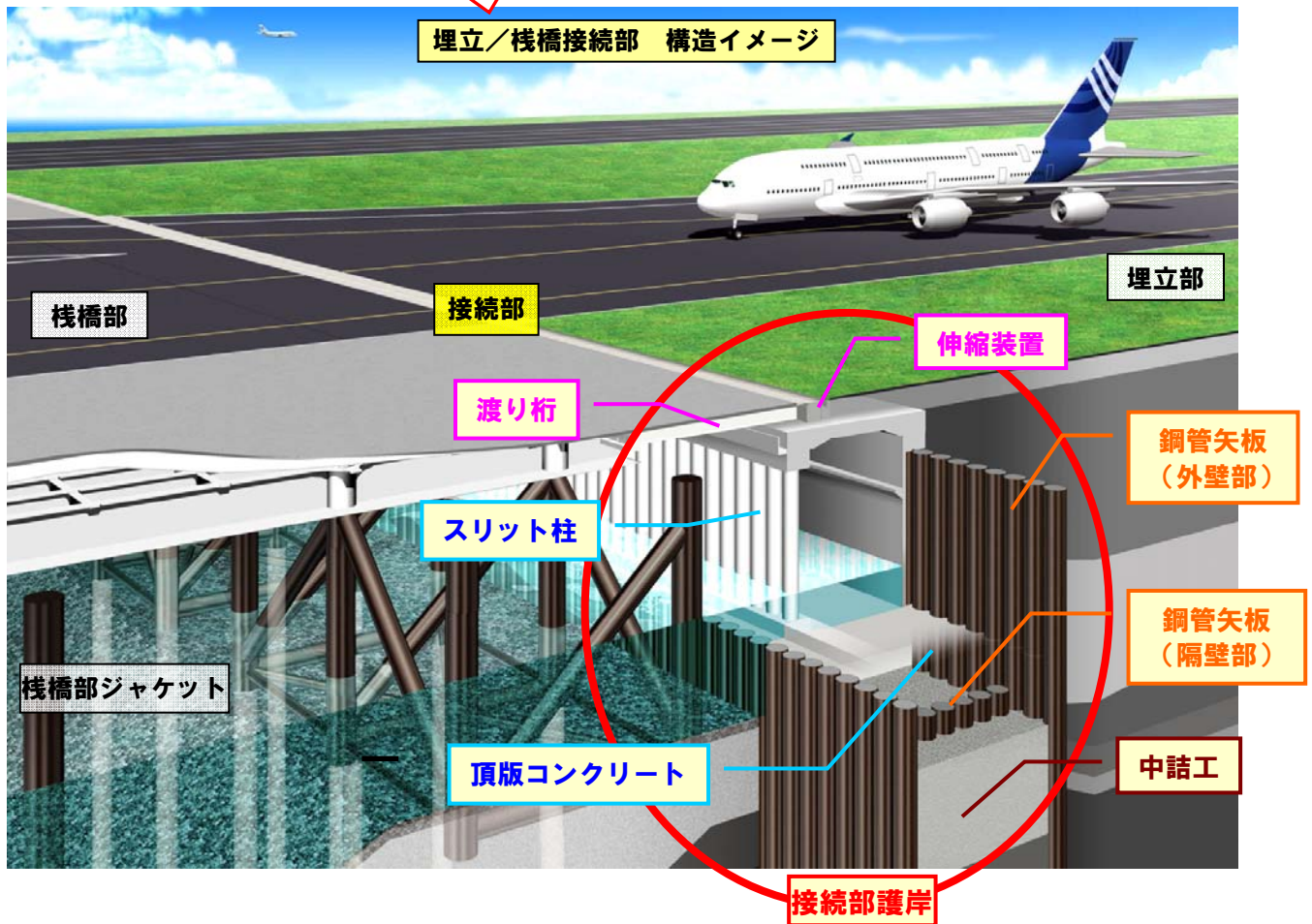
※1 矩形セル…滑走路直角方向の鋼管矢板と滑走路平行方向の鋼管矢板を繋いだ長方形のブロックのこと（2頁平面図参照）

平成20年8月12日
国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所

問い合わせ先

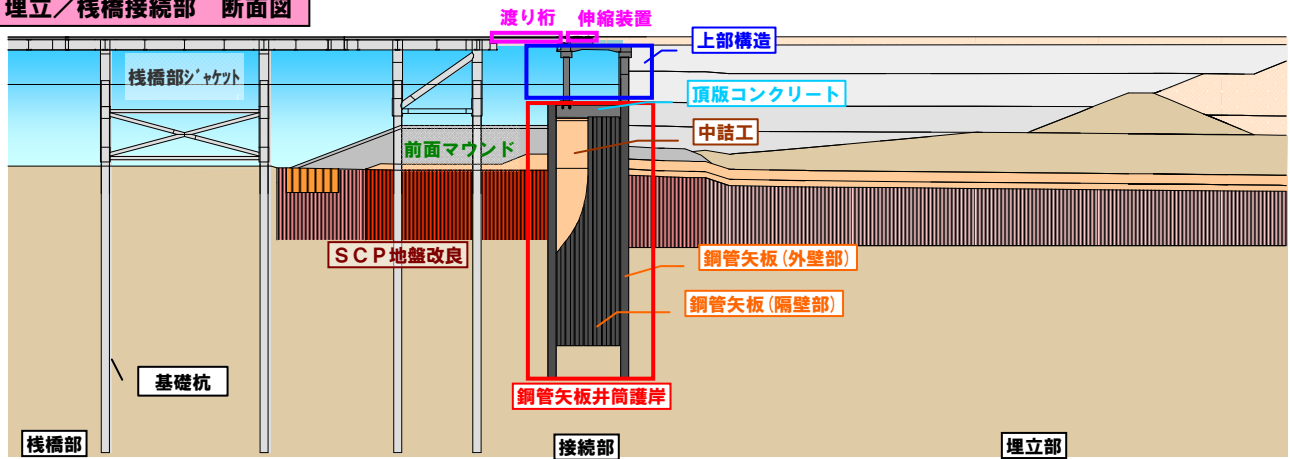
国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所 D滑走路プロジェクト推進室 北川・篠原
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7メンテナンスセンターアネックス5階
電話 03-5756-6580
HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>

■埋立／棧橋接続部鋼管矢板井筒護岸 概要

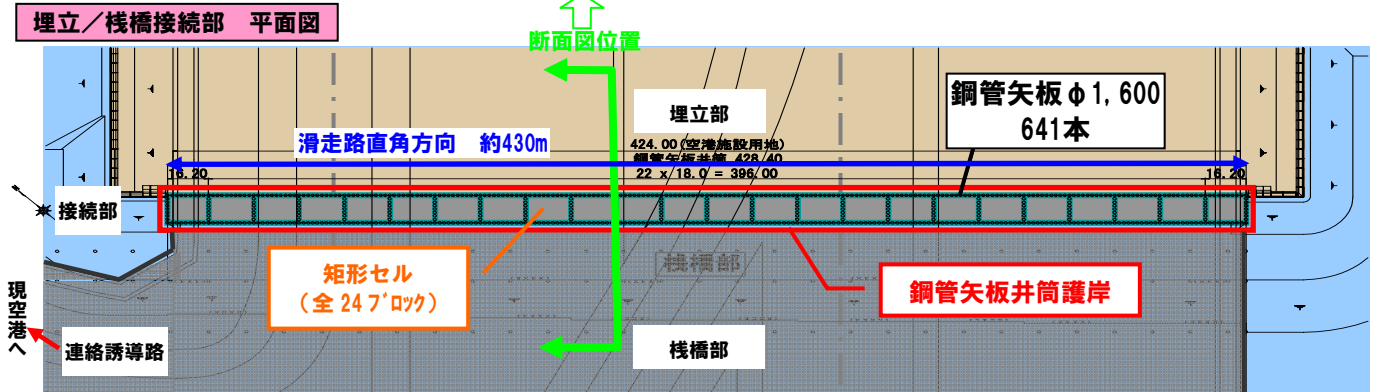


■埋立／棧橋接続部鋼管矢板井筒護岸 概要

埋立／棧橋接続部 断面図



埋立／棧橋接続部 平面図



鋼管矢板打設施工状況写真

鋼管矢板打設施工中の状況 (4月14日現在)



鋼管矢板打設完了後の状況 (8月7日現在)



鋼管矢板打設完了後 (現空港側から沖側を撮影)